

薬学専攻

人材養成および教育研究上の目的

博士課程の薬学専攻においては、医療現場における様々な課題に迅速かつ適切に対応できる高度な専門知識と優れた研究能力を備えた薬剤師の養成を目的とする。この目的に基づき、医療の現場における臨床的な課題を対象とする研究領域を中心とした臨床薬学・医療薬学に関する教育プログラムを展開することにより、高度な専門性や優れた研究能力を有する高度化医療に対応できる薬剤師の養成を行う。併せて、生命科学、創薬科学に関する教育プログラムを展開することにより、医療に関する深い知識と問題解決能力を有する薬学研究者及び教育者の養成を行う。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

医療と創薬科学をつなぐ担い手となりうる薬剤師・薬学研究者の育成を行う観点から、本専攻にて学修し研究するのに望ましい以下のような資質を有する人材を受け入れる。

1. 医療に関わる人として、高い倫理観と豊かな人間性を備えている。
2. 学修に意欲があり、研究に興味と熱意がある。
3. 薬学に関する基礎的学力があり、研究に関する基礎的技術力がある。
4. 研究活動に対応できる英語力を有している。
5. 自らの研究をもって国民の健康と福祉に貢献していきたいとの意思がある。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本専攻は、医療薬剤師プログラム及び薬学研究者プログラムの2プログラムで構成されている。医療薬剤師プログラムでは、個別化医療推進薬剤師、医療系薬学教育者、医療行政推進薬剤師、トランスレーショナルリサーチ推進研究者・技術開発者、レギュラトリーサイエンス研究者等の人材育成を目指している。薬学研究者プログラムでは、創薬研究、薬物治療の最適化などに従事する医療系薬学研究者、基礎系薬学教育者、健康科学、環境衛生化学等研究者・行政担当者、製薬企業研究開発従事者等の人材育成を目指している。両プログラムとも臨床マインドおよび研究マインドを醸成し、医療と創薬科学をつなぐ担い手となりうる薬剤師・薬学研究者を育成するために下記のように教育課程を編成している。

1. 基礎的実験の原理、手技を修得し、研究の全体像と科学的思考法を体得できる基礎実習科目を配置





2. 高度な知識と情報基盤を形成するために、ひとつのテーマを多面的に観て考察することができるオムニバス形式の特修科目を配置
3. 専門分野における学会、研修会、講演の参加や、学会発表、学術誌への論文投稿等を通じて専門能力の向上を目指す専門力養成プログラムを配置
4. プレゼンテーション能力、英語論文の読解力および情報収集能力の形成を目指す演習科目を配置
5. 研究テーマを選定し、実験計画を立案・遂行し、成果を発表することで課題発見能力および問題解決能力を涵養する特別実験科目を配置

❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

医療薬剤師プログラム及び薬学研究者プログラムにおける実験・演習等所定の単位を修めることにより、本研究科の理念・目的に即する下記の人材の域に達し、下記の資質を有するものに博士（薬学）の学位を授与する。

1. 高度化医療や医療現場における様々な課題に迅速かつ適切に対応できる高度な臨床的専門知識と優れた研究能力を有する。
2. 医療に対する深い知識と問題解決能力を有する。
3. 薬学を通して、国民の健康維持に積極的に貢献する姿勢を有する。

